

第17回大東生論文コンテスト作品募集要項

目的 学生に論文作成の機会を設けることにより、創造性、批判精神や分析能力を養成し、大学生生活の充実、ひいては大学全体の活性化を図ることを目的とします。

応募資格 大東文化大学に在籍するすべての学生（学部生・大学院生・専攻科生・別科生）

課題 次の5つの課題から1つを選択し、論述して下さい。いずれの場合も、学生らしい視点からの分析による創造性のある論文を期待します。

『日本国憲法と私たちの未来』

現在、護憲・改憲をめぐる議論がなされています。人権保障を原則の一つとする現行憲法の下、他の先進国と比べて、人権保障は現実には必ずしも十分とはいえません。また、改憲された場合、最低限、現状維持の保障が約束されているでしょうか。改憲の内容によっては私たちの将来・未来に大きな課題・難題をもたらすこともあります。これから国家を背負う青年にそれがどう映るか、それを自由闊達に論じてほしいものです。

『都市環境問題と交通体系』

都市、とりわけ大都市の生活環境は、一向に良くなる。自動車の排気ガスによる大気汚染、都市高速道路の建設や、住宅街における駐車場の乱立による住環境の破壊などの車社会がもたらす弊害をどのように解決するか。環境にやさしい交通体系とは何か。近年、都市の再生と自転車交通が見直されている。しかし、自転車の増加は、無秩序な駅前違法駐車や歩道における歩行者との衝突などによって、都市の環境ばかりでなく、都市生活の安全を脅かしている。良好な都市環境を形成する上で、都市の交通体系はどうあるべきか、あなたの意見を述べてください。

『グローバル化の功罪について考える』

グローバル化が目を見張る速度で進展しています。グローバル化は、国家間の距離を縮め、経済を効率化させ、あるいは人々の交流を進め、相互理解を深めるなど、プラスの面をもっていますが、マイナスの面もあります。マイナスの面では、たとえば、国境を越えた人々の移動による紛争と対立の増大や、経済関係の拡大に伴う経済摩擦などが考えられるでしょう。グローバル化の功罪について論じてください。

『高齢化社会における介護問題と家族のあり方』

既に高齢化社会に突入している日本。人間である以上、誰もがいつかは老いを迎えることとなります。そのとき直面するのが介護の問題です。祖父母、両親、そしていずれはあなた方若者も避けては通れない問題といえるでしょう。一方で高齢者の孤独死という悲しい現実も見られるようになってきました。介護問題に家族はどう対処したらよいのでしょうか？家族とは何か、家族と社会との関わりはどうあるべきなのか、自由に論じてください。

『アナログ社会とデジタル社会のあいだ』

近年、身近なものを見回してみても、時計やレコード・CDなどの録音媒体に限らず、テレビ放送からコンピュータに至るまでデジタル化が急速に進んでいるように見える。また一方で、アナログ型の時計の人気は衰えず、レコードが見直されたりする逆の動きも見られる。ここでは、社会のアナログ的な面とデジタル的な面を掘り下げ、アナログ社会とデジタル社会のあいだに横たわるさまざまな問題について、独自の切り口を提示して論じてみてください。

論文作成上の注意 論文は、応募者自身の創作で未発表・未投稿のものに限ります。類似のイベントとの重複応募を禁止します。

文献や資料の無断転用を禁止します。参考書や新聞等の文献から引用及び発想の転用をした場合は、（注）として出典（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行

年月など)を明記してください。文献や資料のかぎ括弧なしに原文をそのまま引用することは、盗作行為であり、社会的に恥ずべきことです。

ホームページ上の資料を無断で使用することを禁止します。もし、使用する場合は、(注)としてURLとアクセスした日付を明記し、該当箇所をプリントアウトして添付してください。

日本語論文で、字数は8,000字以内(400字詰原稿用紙で20枚以内)とします。ただし、図表・注などは字数には含みません。パソコンなどを使用した場合の原稿の大きさは、A4判の用紙を使用してください。手書き原稿の場合は、黒のボールペンや万年筆を使用してください(鉛筆不可)。

表紙には、選択した課題名(副題を付ける場合はその題目)、総字数、在籍学科、学年、学籍番号、氏名を記入してください(記入された個人情報、当コンテストのため以外には使用いたしません。なお、受賞作品を大学ホームページ上で公開する予定です。その際、受賞者の氏名、在籍学科、学年を併記します)。

目次を表紙の次ページに入れ、項目ごとにページ番号を付してください。

共同執筆も可。ただし、執筆分担を明示してください。

論文はパソコンなどによる活字原稿での応募が望ましい。また、活字原稿にはそのフロッピーディスクも必ず提出してください。

応募原稿の著作権は主催者に属し、返却はできません(必要な場合はあらかじめ控えをお取りください)。

応募期間 平成19年10月1日(月)~12日(金)午後4時迄(厳守)

提出先 下記の部署に持参し、提出してください。

- ・板橋校舎 広報課(2号館2階)
- ・東松山校舎 東松山学生課(管理棟1階)

発表 平成19年12月中旬 入賞者は本人宛に通知するほか、学生部掲示板及び『大東文化』大学新聞(1月号)紙上に発表。なお、上位論文は大東文化大学のホームページ上で公開します。

賞	大東文化大学学長賞	賞状・盾、副賞(ノート型パソコン)	1名
	優秀賞	賞状・盾、副賞(ノート型パソコン)	2名
	留学生特別賞	賞状・盾、副賞(デジタルカメラ)	1名
	1年生奨励賞	賞状・盾、副賞(デジタルカメラ)	1名
	佳作	賞状・盾、副賞(図書カード2万円)	3名
選に漏れた応募者全員に記念品を進呈します。			

表彰式 平成19年12月15日(土)予定。本学板橋校舎で行います。

審査員 (敬称略) 〔委員長〕経営学部 山田 敏之 〔副委員長〕文学部 中澤 紀子
経済学部 石垣 信浩 外国語学部 鈴木 敬了
法学部 柴田 敏夫 国際関係学部 井上 恭子
環境創造学部 永戸 健 スポーツ・健康科学部 田中 博史